福島民友朝刊2013年7月5日

預託実効線量1ミリシーベルト以下

川内村民の内部被ばく検査

震災復興支援放射能対策研究所（平田村、佐川文彦理事長）は4日、川内村民347人の内部被ばく検査（昨年4月1日～今年3月31日実施）の結果を発表した。検査した347人全員の預託実効線量（予測される内部被ばくの累積線量）は1ミリシーベルト以下だった。

同研究所によると、体内から放射性物質（セシウム137）が検出されたのは10人。149人受診の帰村者が5人（検出率3・4％）、127人受診の未帰村者が2人（同1・6％）、61人受診の川内村と別の拠点を往復する人が3人（同4・9％）で検出率に大きな差はなかった。

同村健康アドバイザーを務める東大医科学研究所の坪倉正治さんは「しっかりとした食品検査体制で、食品を摂取すれば帰村した人が安心できるということが示された」と述べた。坪倉さんの分析では、受診者のうち、帰村者が未帰村者に比べて、地元産や家庭採取の食品を食べている割合が多かったが、村などの食品検査を通して、帰村者が食生活を管理することで内部被ばくのリスク要因を減らしていることが示された。

遠藤雄幸村長は「帰村しても、食生活で内部被ばくを防ぐことが可能だと客観的に証明できるデータだ。帰村への十分な判断材料の一つとなる」と話した。

検査は同村が協定を結んでいる、ひらた中央病院（平田村）のホールボディーカウンターを使って同研究所が実施。検査結果発表は昨年11月に続いて2回目。

地層研究所を統合へ

原子力機構改革で文科省

高速増殖炉原型炉もんじゅ（福井県）の機器点検漏れなどを受け、日本原子力研究開発機構の組織の抜本レベル放射性廃棄物の地層処分に向けた研究をしている原子力機構の幌延深地層研究センター（北海道）と瑞浪超深地層研究所（岐阜県）の統合を検討していると明らかにした。

文科省がこの日の会合で統合案を提示。文科省の担当者は「今後10年以内の統合を検討している」としても「原子力研究よりも長期的な最先端エネルギー研究の側面が強い」として、国際熱核融合実験炉（ITER）を含む研究を原子力機構から切り離し、国内のほかの研究機関に統合することで検討を進める。

改革本部はもんじゅで発覚した多数の機器点検漏れなどを受けて設置。もんじ

低線量地域でも……

ホットスポット特定

東大など カメラ開発、製品化へ

東大、茨城大、北里大の共同研究チームは4日、放射線量が比較的低い地域で、放射線の数値とガンマ線が飛んでくる方向が測定できるガンマカメラ「γI（ガンマアイ）」を開発した。同チームが同日、福島市で会見し、明らかにした。年内の製品化を目指している。

開発したカメラは、従来のガンマカメラより感度が高く、0・006ミリシーベルト以上なら測定できる。現在、最大値は3・5ミリシーベルトだが、5ミリシーベルトまで測定できるように改良しているという。また、現在使われている主なガンマカメラより安価に製造でき、重さは約15キロで1人で運ぶことも可能。

同チームは開発のため福島市内で「γI」で放射線量の測定し、中心市街地のビル屋上のコケ、農家の敷地にある樹木などから高い数値が検出された。開発者の1人である東大宇宙線研究所の榎本良治准教授は「感度が高いガンマ線の方向が分かるので、低線量の場所でホットスポットを見つけることができる。自治体などで除染に活用してほしい」と話している。

主要定点の放射線量

（4日・単位：マイクロシーベルト/時）

(時刻)	福島	郡山	白河	会津若松	南会津	南相馬	いわき
0:00	0.34	0.18	0.13	0.07	0.05	0.15	0.09
3:00	0.34	0.18	0.13	0.08	0.05	0.15	0.09
6:00	0.34	0.18	0.13	0.08	0.05	0.15	0.09
7:00	0.34	0.18	0.13	0.08	0.05	0.15	0.09
8:00	0.34	0.18	0.13	0.07	0.05	0.15	0.09
9:00	0.33	0.18	0.12	0.07	0.05	0.14	0.09
10:00	0.34	0.18	0.12	0.07	0.05	0.14	0.08
11:00	0.34	0.18	0.12	0.07	0.05	0.14	0.08
12:00	0.34	0.18	0.12	0.07	0.05	0.14	0.08
13:00	0.34	0.18	0.12	0.07	0.05	0.14	0.08
14:00	0.34	0.17	0.12	0.07	0.05	0.14	0.08
15:00	0.34	0.17	0.12	0.07	0.05	0.14	0.08
16:00	0.34	0.18	0.12	0.07	0.05	0.14	0.08
17:00	0.34	0.18	0.12	0.07	0.05	0.14	0.08

（注）測定場所＝県北保健福祉事務所、郡山合庁、白河合庁、会津若松合庁、南会津合庁、南相馬合庁、いわき合庁
「－」＝機器不具合のため公表せず
問い合わせ＝県災対原子力班
☎024・521・1917（午前8時30分～午後5時15分）

各地の放射線量

（4日・単位マイクロシーベルト／時、Cはセンター、※印は3メートル高）

◆福島市
ふくしま自治研修C　0.15
もにわの湯　0.08
旧堀切邸　0.19
町畑中央団地公園　0.28
十六沼公園体育館　0.11
東部学校給食C　0.45
北沢又団地公園　0.22
福島市中央卸売市場　0.13
西原農村公園　0.55
立子山農村広場　0.34
大門の湯駐車場　0.28
福島西IC　0.40
南部受水池　0.22
蓬莱第一団地公園　0.18
水道局施設管理C　0.40
旧松川小学校跡　0.15
つちゆロードパーク　0.11
花見山ウォーキングトレイル駐車場　0.35
県土湯除雪ステーション　0.09
あづま総合運動公園　0.26
福島市飯野支所　0.25
紅葉山公園※　0.57
◆二本松市
二本松市役所安達支所　0.25
太田住民C　0.27
二本松市役所岩代支所　0.44
あだたら体育館　0.29
木幡住民C　0.26
塩沢住民C　0.32
山ノ入ダム　0.16
田沢集会所　0.22
戸沢住民C　0.36
新殿住民C　0.26
杉田住民C　0.38
初森老人憩いの家　0.28
二本松市役所東和支所　0.35
旭住民C　0.25
石井住民C　0.70
日山パークゴルフ場　0.32
二本松市役所　0.36
福島県男女共生C　0.30
◆伊達市
富野農業研修C　0.16
月館総合支所　0.34
月館運動場　0.23
富成公民館　0.30
伊達総合支所　0.17
梁川総合支所　0.19
白根農業構造改善C　0.12
山舟生林業構造改善C　0.18
霊山パーキング　0.53
石戸ふれあいC　0.30
霊山ふれあいC　0.26
小国ふれあいC　0.38
下小国中央集会所　0.44
伊達市役所保原本庁舎　0.29
伊達市霊山総合支所　0.25
◆本宮市
青田地区公民館　0.15
白岩公民館稲沢分館　0.15
◆鏡石町
鏡石町役場　0.13
◆天栄村
高齢者コミュニティC　0.06
天栄村役場　0.20
道の駅　羽鳥湖高原　0.10
旧羽鳥小学校　0.13
西郷生活改善C　0.20
ハイテク大山工業団地　0.25
農業集落排水　牧之内処理場　0.26
二岐駐車場　0.06
◆石川町
長生園　0.10
石川町役場　0.06
山橋自治C　0.08
◆玉川村
福島空港　0.12
玉川村役場　0.07
玉川村役場須釜支所　0.11
旧四辻分校　0.10
◆平田村
道の駅ひらた　0.11
駒形集会所　0.10
打遠内消防屯所　0.08
中倉一集会所　0.09
中倉二消防屯所　0.08
平田村役場　0.09
◆浅川町
浅川町役場　0.06
大草地区農業集落排水処理施設　0.10
里白石北部集会C　0.08
山白石多目的研修C　0.10
◆古殿町
田口集落C　0.07
古殿町役場　0.10
消防団第2分団2部屯所　0.10
論田ふれあいC　0.13
越代のサクラ公園　0.16
大風川渓谷駐車場　0.09
三株団地入口　0.10
◆三春町
三春町役場　0.1
下舞木農業集落排水処理施設　0.1
七草木集会所　0.2
根本集会所　0.1
南成田一番組集会所　0.2
◆小野町
小野町役場　0.0
湯沢体験農園管理施設　0.1
塩庭二区多目的集会施設　0.
こまちダム管理事務所　0.1
阜渡集会所　0.0
◆白河市
小田川集会所　0.2
白坂行政C　0.2
大信方面隊第1分団第1部第2班屯所　0.2
大信方面隊第2分団第1部第1班屯所　0.1